

Johodai

北海道情報大学広報誌

たなかまど

VOL
59

2013(H25)年12月20日発行

北海道情報大学広報誌
ななかまど

2013 (H25) 12月20日

CONTENTS — もくじ

VOL. 59

01	表紙
02	目次
03	北海道情報大学の教育について (1) 富士学長
04	公式訪問 ラジャマンガラ工科大学訪問団
05	経営情報学部の教育について 澤井秀経営情報学部長
06-07	学部紹介・医療情報学部
08-09	食と健康フォーラム 2013
10-11	TEDX HIU 開催!!
12-15	iWDC iSFC 国際コラボレーション
16-17	蒼天祭 2013
18-19	東京ゲームショー出展
20	ゼミ紹介 (1) 先端経営学科遠藤ゼミ、システム情報学科長尾ゼミ
21	ゼミ紹介 (1) 医療情報学科斉藤ゼミ、情報メディア学科藤井ゼミ
22-23	グラフィックページ
24-27	海外事情・アメリカ編
28	3年生就活スタート / 保護者懇談会
29	秋の食生活改善運動 1 COIN 朝食
30-31	ポスターデザインコンテスト
32	大学院の学生等の学会発表
33	学生の健康診断結果
34	図書館賞
35	Library News
36	クラブ紹介・吹奏学部
37	女子カフェ
38	この先生の裏の顔 医療情報学科浜淵先生
39	マックとビデオのエマージェンシー会話
40-41	江別プロジェクションマッピングプロジェクト
42	留学生の宿泊研修
43	主要行事等
44	ななかまど編集隊



ななかまど編集隊員の金城さんと池澤さんが撮影にうかがいました。

情報大学の「すごい」を

今回は、「ななかまど」編集長の川上正博先生から、「北海道情報大学の教育について」というテーマでの執筆依頼がございました。学生が加わった編集会議で決めましたという一言に、喜んでお引き受けしました。せっかくの機会ですので、本学の学生が意外と知らないことで、実は北海道情報大学の凄い事実（日本の大学で初めて）を何回かに分けて紹介したいと思います。

新しい教育の創造

今回のテーマである「新しい教育の創造」は、本学の創業者である松尾三郎博士が、本学を創立する目的として掲げているものです。本学の凄いところは、「新しい教育の創造」を大学の創立以来、それを実践してきていることです。その一例として、「インフォメーションエンジニアリング (IE)」教育があります。IE は、1990 年代、米国の主要な企業で利用されたシステ

ム開発方法論です。企業の経営戦略を、情報技術を活用して実現するための具体的なシステム開発手法とソフトウェア開発ツールを提供したもので、システム開発を従来より効率的に行える優れた体系です。

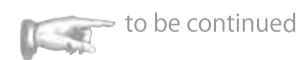
日本でも、IT 関連の大手企業の一部と北海道情報技術研究所が導入していましたが、松尾三郎博士は、IE の教育にいち早く着目され、本学で教えるように指示されました。そして、1997 年から日本の大学で初めて IE 教育の授業が本学で始まったわけです。米国では、コロラド州立大学等で実施され、企業から大変注目されていました。

その後、情報技術の進展とともに IE という言葉は使われなくなりましたが、企業の経営戦略を、情報技術を活用して実現するための基本的な考え方は、現在も利用されています。本学でも、情報システム、ERP システム、ソフトウェア工学等の科目で、その原理原則を学ぶことができます。現在、企業では、経営課題を迅速に解決するためにどのような情報技術を、どのように活用すればよいのかを考えられる人

材、即ち、松尾三郎博士が目指していた、戦略を考え、情報技術を駆使して実現できる人材が求められているのです。

情報大学のこれから

このように北海道情報大学の教育の特徴の1つは、実践的な教育を他大学に先駆けて行っているところにあります。また、そのようなことを可能にしているのが、eDC グループの存在です。eDC グループは、IT 関連の産業・学校・研究を併せ持つ組織で、システム開発を手掛ける SCC と宇宙開発の先端を担う SED (宇宙技術開発株式会社) から構成される産業、北海道情報大学と全国 10 か所の情報専門学校からなる電子開発学園 (学校)、そして本学に隣接している北海道情報技術研究所で構成されています。今後も、これらの産学研連携によるシナジー効果が、本学の教育に反映されていくものと期待しているところです。



公式行事 ラジャマンガラ工科大学訪問団



本学講堂での記念撮影

JOHO NEWS

タイ王国のラジャマンガラ工科大学の理事長一行が来学されました。

平成 25 年 8 月 8 日 (木) に、本学と国際交流協定を締結しているタイ王国のラジャマンガラ工科大学の理事長と、八つのキャンパスの学長、副学長を含む総勢 20 名が本学を訪れました。

歓迎式の後、講堂で記念写真撮影や大学施設見学を行いました。今後とも協力関係を強化し、相互理解を深めて交流を行うことを確認しました。



ラジャマンガラ工科大学関係者との交流の様子



ラジャマンガラ工科大学のスメットヤムヌーン理事長と本学の富士学長



北海道情報技術研究所、メディア教育センタースタジオでの見学の様子



「経営情報学部の教育について」

経営情報学部長 教授 澤井 秀



経営情報学とは、企業などが抱える課題を把握・分析するために必要な情報を的確に収集し、どのように解決に結びつけるかということを追求する比較的新しい学際的分野です。経営情報学部では、平成元年の本学創設以来、この分野について先駆的な研究・教育を推し進め、情報技術の知識とスキルを核として、専門領域（経営、情報）における質の高い実学教育を行ってきています。経営情報学部が目指すのは、情報技術を使いこなすことのできる経営管理者、及び経営の知識を備えた情報技術者の育成です。

経営情報学部の教育において重点を置いているのは、ゼミや演習などの少人数教育です。先端経営学科においては、1年前期の『ICT 入門』に始まって4年後期まで、専門教員による少人数一貫教育を実施しています。1年後期の『自己発見ゼミナール』では、自ら問題意識を持って考えることによって学ぶ楽しさを体験し、2年前・後期の『プロジェクトゼミナールⅠ、Ⅱ』では、PBL（課題解決型学習）形式の授業によって、目標設定、共同作業、目標達成のためのシナリオの策定、報告（プレゼンテーション）などのスキルを修

得します。3年前期から4年後期までは、専門ゼミでの研究と学修を通して専門性を高め、最終的に卒業論文をまとめます。システム情報学科では、2年前期のPBL形式の『プロジェクトライアル』で、脳の動きに基づいた発想法や問題解決技法を学修して、プログラムやWebページの企画及び開発をチームで行い、発想力、企画力、開発スキル、チームワーク、プロジェクト管理、そしてプレゼンテーション能力を涵養します。2年後期の『情報専門演習』でゼミ形式の授業を体験した後、3年前期から4年後期までの専門ゼミで専門性を高めて、卒業論文をまとめます。4年前期の『総合演習』では、それまでに学修したことを結集して、プロジェクト形式でのシステム開発などを行います。充実した講義だけでなく、以上述べたような少人数教育を行うことにより、知識や技術力のみならず、コミュニケーション能力や問題発見・解決能力を育み、広い教養、感受性、モラルを備えた人材に成長してもらうための教育を実践しています。

また、成熟した市場において重要な、サービスの付加価値の増大について学ぶサービスマネジメントコースや、宇宙情報の利用や宇宙で使うための高信頼性ソフトウェアの開発技法について学ぶ、日本の大学では初めての宇宙情報システムコースを新設するなど、時代の流れや世の中の要求に柔軟かつ確に対応したカリキュラム改訂も適宜行っています。

最後になりましたが、学生諸君には、『若さ』はそれだけで素晴らしい財産であることを自覚していただきたいと思っています。『若さ』はくどくどした言葉など必要としない、偉大な力なのです。経営情報学部では、勉学のみならず、一度しかない人生、『若さ』の持つ特権を思う存分に行使して、悔いのない青春を謳歌してもらうことに対して、教員一同、後押しを惜しまず、そしてやさしく見守っています。



次回は医療情報学部について

「経営情報学部の教育について」

H.I.U 学部紹介

医療情報学部 編

医療情報学部の紹介をします。本学
科は 2006 年に経営情報学部の中に設
置され、今年 4 月に医療情報学部
に昇格しました。学部化することにより教
育内容や学生へのケアを医療情報学部
の学生に柔軟に対応できるように考え
ています。特に今年度からは教育アド
バイザとして各クラスに 2 名の専門の
先生を配置して学生の将来の悩みなど
を汲み取れる体制をとっています。こ
れまで通り担任の先生には学生の大学
生活でのフォローや問題のある学生の
ケアに注力していただき、専門の先生
と連携しながら学生の夢を実現するた
めに学部の教員すべてで対応する体制
を整えているところです。

本学部は当初医療事務系の人材を育
成することを柱に設置された学科です
が、現在は診療情報管理、医療情報管
理と医療情報テクノロジーを大きな柱
とし、さらに学部化に伴い「医療経営」
と「食と情報」が加わり単学科ではあ
りませんがコースは多様です。医療情報
を駆使し医療経営戦略を考えられる人
材の育成や市民の食と健康への関心の
増加に伴い正しい食品の選び方など食

に関する情報を提供できる人材の育成
など社会のニーズにあったコース設定
です。全国的に見ても医療情報学部を
標榜している大学は本学だけです。医
療の知識と情報処理技術を備えた人材
は、医療機関でも医療系企業でも求め
られています。

本学部において主要な資格である診
療情報管理士は年々合格者が増え昨年
度は 16 人が合格し、学内合格率は
50%で全国平均 43.7%を上回る成績
をおさめました。もう一つの主要な資
格である医療情報技師においても毎年
5、6 名の合格者と 20 名近い科目合格
者（3 科目中のいずれかを合格したも
の）を出しています。私は医療情報技
師育成部会に所属して活動していお
り、全国の医療情報系の大学の教員と
話す機会が多くありますが、多くの他
大学では 3 科目合格は難しく諦めてい
るのが現状です。その点本学の学生は
非常に健闘しているといえます。健闘
している理由は本学のカリキュラムが
医学医療、情報処理技術そして医療情
報システムに対するカリキュラムが充
実しているためです。病院や企業から

も認められる資格として学生のモチ
ベーションも向上していると思いま
す。本学に私が赴任した 5 年前は資格
取得が目標という考えでしたが、いま
は社会に出るための基本的な要件とい
う考えに変わってきています。特に医
療機関では国家ライセンスを持ったス
タッフの中で働くのですから当然で
す。最近では 2 学年でも合格者や科目
合格者が毎年出ています。学生の勉学
に対する真摯な姿勢が結果に出てきて
いるように思います。

さて、医療情報学部の卒業はまだ先
ですが、これまで就職率は約 90%を
維持し、その内訳は医療機関と企業が
おおよそ半々という状況です。医療機
関では診療情報管理士として診療情報
管理部に配属されることはもちろんで
すが、医療情報部、経営企画部、人事部、
システム管理部や医事課など多様な部
や課に配属され活躍しています。一例
を挙げますと北海道大学病院の医療情
報部の 8 名のスタッフのうち 4 名が本
学の卒業生です。医療機関の医療情報
系への浸透が年々高まっているように
感じています。

私が所属する医療情報学会の北海道
支部会の夏の学術講演会では本学講堂
を利用して毎年 7 月に行われていま
す。この講演会には会員発表会もあり
毎年本学の学生や卒業生がゼミでの研
究内容を発表しています。自分の卒業
研究を学外で発表することは彼らに
とってよい経験になっていると思いま
す。また、卒業生もたくさん講演会に
参加するためお互いの近況を確認する
場にもなっています。これまでの 4 期
の卒業生を輩出し、何人かの卒業生は
転職を果たし更なるキャリアアップに
挑戦しています。

企業に就職する学生は一般企業、IT
系企業や医療系の企業に就職していま
す。IT 系企業に就職したある学生は

3 ヶ月の研修を終えネットワーク関連
の資格試験を受験し、その企業では
14 名中 4 名が合格し本学卒業生 2 名
はもちろん合格でした。また、私が関
わっている医療系企業には毎年 1、2
名就職し全国で活躍しています。その
他の医療系企業からも本学部の認知度
が少しずつ上昇し医療系企業の就職も
増加傾向にあります。就職の課題とし
ては学生の北海道指向と資格取得で
す。もっと全国で活躍したいという
チャレンジ精神と資格取得のモチベー
ションをあげるように指導していき
たいと考えています。

このように医療情報学部は時代の
ニーズを捉え、それに向けたカリキュ
ラムを用意し、学生を医療業界（病院、

企業）に送り出しています。本学部が
真に評価されるのは 10 年後である
と思います。卒業生がどのように成長し
社会に貢献できているかが本当の評価
だと考えています。その評価が大学に
フィードバックされ、さらにモチベー
ションをあげるスパイラルが学部の中
に構築できると考えています。本当の
評価を得るためには私たちは真摯に現
状の問題点を明らかにして改善する努
力を行う必要があります。つまり絶え
ずイノベーションを持続する必要があ
ると考えています。

上杉 正人



医療情報学会北海道支部会（2013.7 松尾記念講堂）
左：阿部 君（3 期生） 中央：梅木 君（1 期生） 右：白土 さん（4 期生）
@北海道大学病院 医療情報部



医療情報学会春季大会（2012.6 函館）
2 期生 左：清水（旧姓森下）さん@勤医協 人事部
右：村上さん@苫小牧東病院 診療情報管理室



株式会社ジェイマックスシステム（2013.4）
4 期生 木ノ元 君@ジェイマックスシステム
技術部仙台営業所



モバイル医療画像実践セミナー（2013.5 札幌）
4 期生 宮脇 君 @北海道循環器病院 総務課 SE



医療情報連合大会（2013.11 神戸）
3 期生 左：井内 君 @滝川市立病院 経営管理課
右：鳴海 さん @旭川医科大学病院 診療情報管理室



医療情報学会北海道支部会（2013.7 松尾記念講堂）
1 期生 演田 君@禰心会病院



医療情報学会北海道支部会（2013.7 松尾記念講堂）
3 期生 左：藤田 君@時計大病院 診療情報管理室
右：及川 君@社会保険中央病院 医事課



医療情報学会北海道支部会（2012.2 北大）
3 期生 土井 君 @KKR 札幌医療センター 情報管理課

食と健康フォーラム 2013

平成 25 年 11 月 23 日(土)、松尾記念館講堂を会場として、本学主催による「食と健康フォーラム 2013」を開催しました。

このフォーラムは、国内外における機能性食材の研究事例や本学が実施している「食の臨床試験」の研究成果を紹介することで、「食」を通じた「健康づくり」について市民とともに考え、「健康カード」の仕組みのスタートを記念して、これらの活動を多くの市民に理解してもらい、より多くの市民が積極的に参加する「食を基盤にした健康づくり運動」に繋げることを目的として、江別市、江別商工会議所、一般社団法人北海道食産業総合振興機構の共催、経済産業省北海道経済産業局、北海道、北海道経済連合会、公益財団法人北海道科学技術総合振興センターの後援、株式会社アミノアップ化学、江別製粉株式会社、株式会社菊水、株式会社町村農場、株式会社北辰フーズ、一般社団法人江別青年会議所、株式会社エスシー、株式会社北海道情報技術研究所、北海道情報専門学校の協賛で開催されました。

当日は、学生・教職員や一般市民合わせて約 300 人の来場者となりました。

午前 10 時に本学の富士隆 学長、続いて三好昇 江別市長様の開会挨拶でフォーラムが始まり、近藤 龍夫 北海道経済連合会会長様による基調講演、その後は、本学の西平 順 教授(医療情報学部)の進行で、3 か国、5 名の研究者が英語又は日本語で講演されました。

今回のフォーラムは、平成 23 年 11 月 14 日(月)に本学で開催した「Food Summit 2011 in Ebetsu」、平成 25 年 2 月 27 日(水)に京王プラザホテル札幌で開催した「国際フォーラム 2013「食と健康 in 北海道」」に次ぐ、研究発表の場にもなりました。このようなイベントを開催できたことは本学にとってとても名誉なことでもあります。これも開催に当たって共催、後

食と健康フォーラム 2013

「食」を通じた「健康づくり」

2013年11月23日(土) 10:00~12:20

北海道情報大学 松尾記念館 講堂

入場無料 定員600名

主催 北海道情報大学

共催 江別市、江別商工会議所、一般社団法人北海道食産業総合振興機構

後援 経済産業省北海道経済産業局、北海道、北海道経済連合会、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

協賛 株式会社アミノアップ化学、江別製粉株式会社、株式会社菊水、株式会社町村農場、株式会社北辰フーズ、一般社団法人江別青年会議所、株式会社エスシー、株式会社北海道情報技術研究所、北海道情報専門学校

北海道情報大学
Hokkaido Information University
http://www.do-johodai.ac.jp

援、協賛いただいた関係機関や本学教職員・学生、何よりも参加していただいた多くの市民の皆様のご支援とご協力のおかげです。皆様方に深く感謝いたします。(総務課)

「食」を通じた「健康づくり」

国内外における機能性食材の研究事例や北海道情報大学が実施している「食の臨床試験」の研究成果を紹介することで、「食」を通じた「健康づくり」について市民とともに考え、「健康カード」の仕組みのスタートを記念して「食と健康フォーラム2013」を開催します。

北海道情報大学が実施している「食の臨床試験システム」は食品の健康増進に関わる機能性を評価する仕組みとして、食を基盤にした経済活性化を推進する北海道フードコンプレックス事業において中核的な役割を担い、これまで北海道産のタマネギやアスパラなどの機能性食品の科学的評価を実施してきました。

一方、本年度10月には江別市では健康カード事業が開始され、江別市保健センターと連携して食を通じた市民の健康づくりを推進するプロジェクトを進めています。本フォーラムは、このような活動を多くの市民に理解してもらい、より多くの市民が積極的に参加する「食を基盤にした健康づくり運動」に繋げることを目的とします。



食と健康フォーラム 2013

「食」を通じた「健康づくり」

FOOD & HEALTH FORUM 2013

北海道情報大学
Hokkaido Information University

北海道情報大学 「食と健康フォーラム2013」

「食」を通じた「健康づくり」

国内外における機能性食材の研究事例や北海道情報大学が実施している「食の臨床試験」の研究成果を紹介することで、「食」を通じた「健康づくり」について市民とともに考え、「健康カード」の仕組みのスタートを記念して「食と健康フォーラム2013」を開催します。

北海道情報大学が実施している「食の臨床試験システム」は食品の健康増進に関わる機能性を評価する仕組みとして、食を基盤にした経済活性化を推進する北海道フードコンプレックス事業において中核的な役割を担い、これまで北海道産のタマネギやアスパラなどの機能性食品の科学的評価を実施してきました。

一方、本年度10月には江別市では健康カード事業が開始され、江別市保健センターと連携して食を通じた市民の健康づくりを推進するプロジェクトを進めています。本フォーラムは、このような活動を多くの市民に理解してもらい、より多くの市民が積極的に参加する「食を基盤にした健康づくり運動」に繋げることを目的とします。

●プログラム

10:00~10:10 開会挨拶
北海道情報大学長 富士 隆
江別市長 三好 昇 氏

10:10~10:30 基調講演
「北海道の食の戦略を考える」
北海道経済連合会会長
一般社団法人北海道食産業総合振興機構代表理事 近藤 龍夫 氏

10:30~12:15 スイスDSM Dr.Manfred Eggersdorfer
講演「The Road to Good Nutrition」
天徳大学看護学部 栄養学科 荒川 義人 教授
講演「栄養学からヒトの健康を考える ~食材の機能性を中心に~」
北海道大学大学院薬学研究所 臨床病態解析学
北海道大学南院消化器内科 栄養管理部長 武田 宏司 教授
講演「栄養と病気 ~食による病気の発症から予防・治療まで~」
タイ王国ジャマランガラ工科大学 Dr.Krish Sa-nganpuang
講演「Perspective on Research and Development in Food Science and Technology at UTK and Thai Functional Research Project in Thailand」
北海道情報大学 医療情報学部 西平 順 教授
講演「食の臨床試験と連携した予防医療システム「健康カード」事業」の構築に向けて」

12:15~12:20 閉会挨拶 北海道情報大学 常務理事 中居 聡士

北海道の食の戦略を考える
近藤 龍夫 氏
北海道経済連合会会長
一般社団法人北海道食産業総合振興機構代表理事

栄養と病気 ~食による病気の発症から予防・治療まで~
武田 宏司 教授
北海道大学南院消化器内科 栄養管理部長
一般社団法人江別青年会議所 代表理事

これらの栄養管理 ~ビタミンを中心に~
Dr.Manfred Eggersdorfer
スイスDSM

タイにおける食品科学の研究開発の現状と機能性食品開発プロジェクトについて
Dr.Krish Sa-nganpuang
タイ王国ジャマランガラ工科大学

栄養学からヒトの健康を考える ~食材の機能性を中心に~
荒川 義人 教授
天徳大学看護学部 栄養学科

食の臨床試験と連携した予防医療システム「健康カード」事業の構築に向けて
西平 順 教授
北海道情報大学 医療情報学部

9月29日(日) TEDxHIU開催!! Building Global Vision

9月29日(日)に、現在、世界で広がりを見せているカンファレンスイベントであるTEDを、日本の大学の中では9番目に北海道情報大学で開催しました。当日は、応募の中から選ばれた学生や社会人など100名が来場しました。

カンファレンスでは北海道情報大学に縁のある7名のスピーカーに登壇していただき、様々なテーマでアイデアを発信しました。カンファレンス後

のレセプションではオーディエンス、スピーカー、スタッフの交流が盛んにされていました。

初めての開催だったため、課題は多く残りましたが、北海道情報大学の魅力を伝えるイベントとして、“TED”はとても良いプラットフォームだと確信しています。

北海道情報大学には優れたアイデアや技術がたくさんあるのに、なかなかそのアイデアを発信できていない

ように感じます。

「もっと多くの人に北海道情報大学の魅力を知ってもらいたい。もし多くの人に知ってもらえたら、学生にもっとチャンスが巡ってくるかもしれない」そんな風に思えたTEDxHIUでした。



TEDとは
“Technology”(技術),
“Entertainment”(娯楽),
“Design”(デザイン)の頭文字を取って名付けられたイベントです。価値のある優れたアイデアを世界中に発信するのがねらいです。日本ではNHKの「スーパープレゼンテーション」という番組で放送されました。

そして、僕たちが行ったTEDxHIUとは“TED”に“x”(TEDから独立しているという意)が付いているものです。“TEDx”はTEDの公式のイベントでありながら、TEDから独立し、様々な地域の優れたアイデアを発見しようという目的で世界中で開催されています。

<http://www.flickr.com>にてTEDxHIU当日の写真が公開されています。



オーガナイザー
川股 学
(情報メディア学部3年)

TEDxHIUを開催するきっかけは、“TEDxSapporo”というTEDxイベントが札幌で行われた時に職員の方からの誘われたことにあります。そのイベントには教授、職員、先輩、自分の4人で参加しました。そして、その4人でTEDを北海道情報大学で開催してみようという話になり、私がオーガナイザーとして運営していくことになりまし

た。右も左もわからない状態から始まったTEDxHIUの最初は、メンバー集めから始まりました。初めての取り組みだったため、困ったことも悩んだこともたくさんありました。時には先生方に怒られ、落ち込みながらも必死にメンバーを集めました。北海道情報大学の学生に“TEDxHIU”を知ってもらうためのプレイベントも2回行い、最終的にはスタッフで50人を超える規模になっていました。

最後に、私がこのイベントを最後までやり抜くことができたのは、最初に誘ってくれて、最後までサポートして

くれた竹内教授と大学職員の黒黒さん、困ったときにアドバイスをたくさんしてくれたゼミの安田先生、映像関係でもお世話になった島田先生、叱ってくれた穴田先生、スタッフ、今回のイベントに関わってくれた全ての人のおかげだと思っています。この後も後輩たちがこのイベントを通じて北海道情報大学の魅力を発信していただけることを願っています。



Speaker

北海道情報大学 職員

安倍 隆 Takashi Anbai

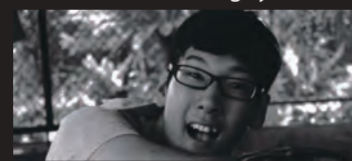


ゼロ・エミッション・アーティストとしても活動している安倍さん。私たちの自然に対する考え方を見つめ直すことができました。

10 TEDxHIU 開催

北海道情報大学 情報メディア学部4年

名越 慎 Shin Nagoya



背中を見るというキーワードをもとに、自分の経験した過去とどう向き合い、乗り越えていくべきなのかを語りました。彼に共感した人は多かったと思います。

北海道情報大学 卒業生

村上 悠馬 Murakami Yuma



自分から行動し意見を述べることにについて自身の経験を通してどのように行動するのか。一步を踏み出す勇気ををもらうことができました。

北海道情報大学 情報メディア学部3年

櫻井 大樹 Daiki Sakurai



ある辛い挫折を一冊の本をきっかけに行動し乗り越えた、櫻井さん。その時の体験、たどり着いたひとつの考え方、彼の話は誰もの胸を打つものでした。

北海道情報大学 経営情報学部3年

西川 晃央 Akio Nishikawa



「私とあなたが幸せになる方法」というテーマでどうすればみんなが幸せになれるのかを話していただきました。

北海道情報大学 情報メディア学部4年

澤 翔子 Shoko Sawa



サークル活動を通して仲間達と一緒に学んだこと。自分が面白いと思ったものに対して、信じてまっすぐ進んでみる大切さを語りました。

北海道情報大学 経営情報学部 准教授

金間 大介 Daisuke Kanama



創造性。この言葉を聞いてなにを思いますか？ 創造性とはなにか、創造性を鍛える方法を話していただきました。



TEDxHIU 開催
11

iWDCワークショップとは？

iWDCワークショップは、本学とタイのRMUTTで開催される国際Webワークショップです。日本人2人、タイ人2人の4人でチームを作り、英語でコミュニケーションを取りつつサイトを作り上げていきます。今年のテーマは「文化の比較」。お互いの国に1週間ほど滞在し、制作だけではなく現地取材も行い、異文化の理解を深めます。



Game / Atta

Hunting for KAWAII

情報メディア
3年 得能聖人
4年 澤翔子 / 森田椋花

Mo / Kwan

SIGNBOARDS in Japan and Thailand

情報メディア 4年
原田千春 / 白川芳大

Erk / Jane

Difference of Romance Situation

情報メディア / システム情報
3年 池澤千章 / 山口堅士朗

WDCで学んだこと

By 2年 滝山智美

最初は英語がなかなか通じずに苦労したのを覚えています。言い方を変え、ジェスチャーを交えて、そうしてやっと通じた時は本当に嬉しかったです。慣れてくるとお互いの文化や、流行りの歌手についても楽しく話すことも出来ました。日本ではなかなか機会のない、生きた英語でのコミュニケーションで、お互いの国についてよく学ぶことが出来たと思います。

Yong / Boom

Fruits of Seasons

情報メディア 4年 / 3年
小林真弓 / 名久井裕美

Kero / Ann

Difference University life

情報メディア 4年 / 2年
名越慎 / 滝山智美

8/30

タイ学生 日本到着
歓迎会

8/31

作品制作
北海道開拓の村
散策

9/1

芸術の森 鑑賞
札幌 現地取材

9/2

北海道神宮 散策
札幌 現地取材
空手道場見学

9/3

作品制作

9/4

作品制作
交流会

9/5

作品制作
交流会

9/6

プレゼン練習
JASSO レポート作成

9/7

プレゼン
授賞式

9/8

小樽 散策

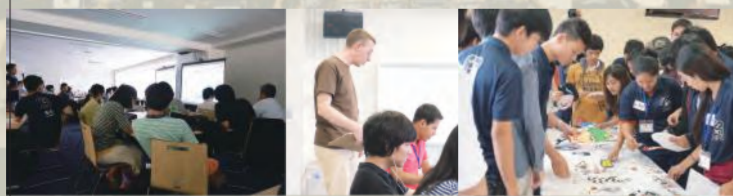
9/9

札幌 現地取材

次回のiWDC/iSFCは
学内ポスターをチェック！
作品を作って
君もタイに行こう！
ワークショップI: 8月 (HIU)
ワークショップII: 9月 (RMUTT) 予定

iSFCワークショップとは？

iSFCワークショップは、今年度から始まった国際映像ワークショップです。4人のチームでショートフィルムを制作します。各国1週間の滞在中で、脚本を作り、現地でロケハンを行い、撮影、編集まで行います。今年のテーマは「カルチャー」。日本とタイの文化を通して1つのストーリーを紡ぎ出します。



An / Min

We can be the Nirvana

情報メディア 4年
才田恵梨香 / 石森詩織

Jain / Maruta

Alcohol Difference -Japan & Thailand

情報メディア 3年
古川泰二郎 / 堀井拓斗

Ked / Film

Thailand & Japan Attraction

情報メディア 4年 / 3年
安西直樹 / 小久保利信

iSFCで学んだこと

By 3年 高島茜

タイと日本との文化の違いを学ぶのはもちろんのこと、日本とは違う映像の撮り方や、視点、解釈の違いを感じることができました。ワークショップ期間、毎日が新しい発見で、とても貴重な体験だったと思います。タイの人達とは全て英語での会話になるので、少しでも多く英語を勉強しておくこと、ジェスチャーの練習をすることをお勧めします。

Bank / Pop

Split story : table manners

情報メディア 3年
星崎智也 / 武藤裕之

Kao / Annty

Friendship

情報メディア 3年
奈良聡子 / 高島茜

2013 国際コラボレーション

国際WEBデザインコンテスト (IWDC) & 国際ショートフィルムコンテスト (iSFC)
 Design by 3年 高島茜 2年 滝山智美

国際コラボレーションとは?

2013年度から開講された新しい国際交流科目です。グローバル人材育成を目的としています。国際コミュニケーション力だけでなく、主体性、積極性、協調性、責任感、異文化に対する理解などを育成します。

技術や知識、表現力の向上!
 コミュニケーション力、英語力が身につく!
 異国の文化を学べる!
 グローバルな交流ができる!

タイについて

仏教に対する信仰が厚く、挨拶を大切にしているので、温厚で優しい人が非常に多いです。気候は温暖でとにかく暑いです。…暑いです。中心街は高層ビルや大型ショッピングセンターなどが立ち並びますが、その中にも寺院や歴史的建造物がたくさんあります。

食事については、お米や麺を主食で食べるところは日本と似ています。独特な香辛料やスパイスを使っているのので、辛い・酸っぱい風味に最初は戸惑うかもしれません。



ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 (RMUTT)

首都バンコクから北に40 km郊外にあります。広大なキャンパスを有する、学生数2万人、教員数約800人の大学です。サッカー場や植物園などの厚生施設も充実しています。



8/11

タイ到着
歓迎会

8/12

表敬訪問
オリエンテーション
学内見学

8/13

講義
各自の作品紹介
グループ決め

8/14

作品制作

8/15

作品制作
アユタヤ遺跡と
旧日本人街を訪ね

8/16

王宮
ワットプラケオ
散策

8/17

バンコク東急百貨の
東社長 懇談会
フリータイム

8/18

水上マーケット
ウィークエンド
マーケット
現地調査

8/19

パタヤ
現地調査

8/20

作品制作

8/21

作品制作
送別会

8/22~23

日本へ帰国

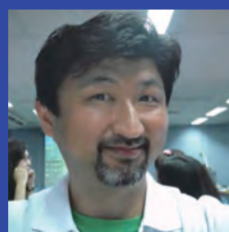
代表



穴田 有一 先生

RMUTT 学生と非常に良い交流ができたのは大成功だと思います。しかし、反省点もあります。ワークショップでの作品制作作業は、もっと密度を高められると思います。グループワークの協調性についても、グループによっては課題が残りました。これらの反省点は、2014年度に改善したいですね。

WDC



安田 光孝 先生

ITやコンテンツビジネスのグローバル化が急激に東南アジアへとシフトしていく中、大学生のうちにタイに赴き、タイの若者と一緒になって一つの作品(Webやフィルム)を作りあげた経験は、大学の教室では得られない新しい価値観を与えたと思います。そして、この変化を未来の自分につなげるのは君達だと思う。



川上 正博 先生

学生の皆さん、教職員の皆さん長いワークショップお疲れ様でした! 年々充実して素晴らしい! 私も参加させて頂き若者の可能性をいっぱい感じることが出来て、とても楽しいです。タイの学生さんや先生達も仲間づくりが良かったですね! 穴田先生 Obrigado! Brazil ですね。

SFC



島田 英二 先生

映像作品を作って、入選したら海外へ行けるかも!! 映像制作に興味がある学生、海外に興味のある学生にはまたとないチャンスです。就活で話すネタにもなるし、視野も広がるし、楽しいよ! ぜひ応募してみてくださいね!



大島 慶太郎 先生

学生時代の海外経験は、自分自身の成長を一気に加速します。現地の空気を感じて、見て、聞いて、味わって、話し合う。異文化交流を通じて、自国のこと、外国のこと、世の中の流れ、色んなことの理解度が高まります。これは行った人でないと実感できない。興味のある学生は是非トライを!



Sommai Pivsa-art 工学部長 (ソンマイ先生)

2008年から始まった両大学の学術交流は、2013年度 IWDC と iSFC の2つのコンテストの成功として素晴らしい実りある活動となりました。交流を通じ、お互いの国を理解することにより学生のみならず、皆さんが今後も友情を育んでいくことを祈っております。



Natha 先生 (ナタ先生)

このイベントを通じ、お互いの学生が友情と文化を理解したことは何より素晴らしいことであり、数年前から始まったこのイベントは今や大きな木と育ったように思います。この「友情と文化の理解の木」がますます枝葉を増やし、最後には素晴らしい花が咲くようこれからも応援しております。



Uravis (ウラビス) 先生



Deachrut (トン) 先生



Onsucha (アン) 先生



蒼天祭 2013

蒼天祭を終えて。

先ずはじめに平成 25 年度北海道情報大学蒼天祭が無事終えることができましたことをご報告いたします。これも教職員の皆様をはじめ、協賛していただいた企業等の皆様、蒼天祭に関わったすべての方々のご理解ご協力があったことです。この場を借りて感謝とお礼を申し上げます。

今年度の蒼天祭では、総来場者数が約 1,300 人となり昨年度より多少減ってしまいましたが、天候に恵まれなかったにもかかわらず、これほどの来場者数であったことは運営していた実



行委員会メンバーでも驚きを隠せません。また今年度は新たな試みとして、船細工職人をお呼びしたことで、花火大会を行ったことです。このことは、悪天候にもかかわらずこれだけの集客を記録できた要因だと思われま

すが、ステージ前の観覧スペースにはたくさんのお客様がおこしになっていました。当初初めての試みということもあり、いろいろ不安でしたが、間近で上がる花火とその音に迫力があり、現場で見ているととても感動しました。蒼天祭全体を通していろいろなことが経験できた良い年でした。

船細工職人は、午前 10 時からの売り出しですぐに大盛況になり、午後 3 時には約 120 本あった在庫がすべて売り切れるほどでした。また客層もお子様だけに限らず学生や、ご年配の方など幅広い層の方に買っていたことができました。

花火大会は、多少天気が芳しくありませんでした

北海道情報大学 大学祭実行委員会委員長 佐藤 佑起

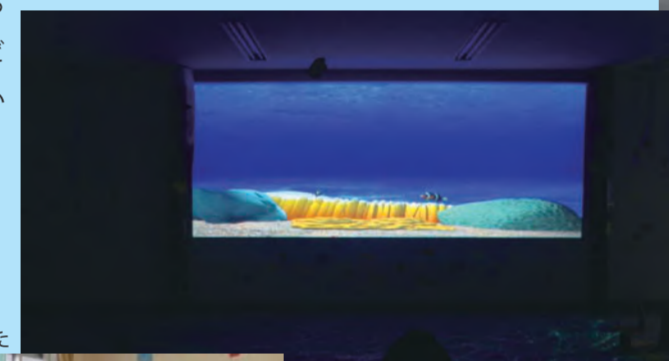


25th

蒼空の下で、つかの間のノンビリタイム。

すべてがうまくいったわけではなく、もちろん失敗などはたくさんありましたが、蒼天祭終了後に教職員の方や模擬店・ゼミ・サークル展示に参加していただいた学生の皆様から「今年の蒼天祭はとても面白かった」や「委員会お疲れ様」などのお声をいただくことができ、これまでがんばってきたかがありました。これも、一緒にがんばってきた実行委員会の仲間がいたからこそ、このようなお言葉をもらえることができたと思います。

今後とも蒼天祭と実行委員会の活動に変わらぬご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



お子様に人気でした

人気の映像展示



模擬店の食べ物はお客様でいっぱい



ロボットと遊ぶコーナー



急いで準備しよう!

頑張る案内係

大人気だった船細工!!





東京ゲームショウ 2013 に情報大ブース出展



東京ゲームショウとは

東京ゲームショウとは、1996年より開催されている、ゲームの祭典である。(1997年以降幕張メッセにて開催)

日本国内だけに収まらず、海外からもゲーム関連企業・学校がブース出展を行う日本国内では最大級の展示会である。展示されるものは様々なものがあり、ゲームの新作ハード・ソフトウェア、ソーシャルゲームアプリに加えて、ゲームに関連した模型やフィギュアなどが展示され、企業によってはゲームソフトの試遊も可能。

今年の東京ゲームショウ2013(以下、TGS2013)では、新たにもう一つの会場を設け、キッズコーナー、コスプレコーナーなどが展開された。また、会場の様子がライブ配信されたり、一般公開日には、ゲームに関連した声優などによるトークショーなども開催され、イベント満載の4日間となった。

TGS2013 と、プロジェクトトライアルIIの関連性

東京ゲームショウには、本学の学生がブース出展を準備段階から行っている。展示用のゲームの制作をはじめ、実際のブース装飾やパンフレットの制作など、北海道情報大学の情報メディア学部の学生達がチーム一丸となって制作する。しかし、行きたい学生が必ずしも行けるわけではない。プロジェクト・トライアルII(夏期集中講義・3年生より履修可能)を履修した学生の中から、最も優秀だと判断されたチームの学生がその出展権を得る。たった3日間という短い時間の中で、それまでに培ってきたスキルを存分に活かし、プレゼンに挑むのだ。

本年度は、ゲーム班6チーム、ブース班3チームが応募し、結果はゲーム班チーム「PGY」、ブース班「FNS~東京ゲームショウ専属コンサルティング部~」の6名が選出された。

学生の出展権獲得人数は6名までが上限だったので、この2チームから3名ずつ計6名の出展となった。この6名に加えて引率担任の安田光孝准教授、森川悟講師、広報室の高清水さんの計9名が北海道情報大学の看板を背負ってTGS2013へと出発した。



ゲーム班チーム「PGY」
中館さん・千葉さん・出町さん
ブース班チーム「FNS~東京ゲームショウ専属
コンサルティング部~」
二瓶さん・伏見さん・齊藤さん

Tokyo Game Show 2013



大判印刷を使って、ブース設置用のパネル製作中。



ノベルティのバッチ製作中。全て手作業です。



TGS2013 専用にブース班で作った
オリジナルTシャツと浴衣衣装を着て、準備作業。



5日間を終えて。お疲れ様でした！！



一般公開日のお客様は世界中のゲームマニア。

今年も、
プロトラIIは開講予定です。
興味のある学生はぜひ参加を！
安田先生または、森川先生まで。

ゼミ紹介

遠藤ゼミ 経営情報学部 先端経営学科



消費者に関するリサーチや江別駅前の活性化活動を行っています。

一昨年、「江別市民の生活意識および購買行動調査（平成23年度江別市大学連携調査事業）」を実施し、市民の生活および消費意識と食品・日用品の購買場所を明らかにしました。この調査結果に基づき、当ゼミでは江別商工会議所、江別中心街協議会、江別

料飲店組合と協力して江別駅前の活性化活動も行っています。江別駅前の活性化活動では、昨年度は江別駅前の飲食店を紹介する「江別駅前マップ」を制作し、今年度は本学情報メディア学部の安田ゼミに協力していただき「江別駅前おさんぽ写真コンテスト（平成25年度江別市大学連携学生地域活動支援事業）」、「江別駅前まったりお散歩（平成25年度江別市商工業活性化事業補助金補助事業指定）」を実施しました。またそれと並行して、今年度は「江別市内における公共交通の実態に関する調査（平成25年度江別市大学連携調査事業）」と市内スーパーのレジデータの解析も行っています。



長尾ゼミ 経営情報学部 システム情報学科



長尾ゼミでは、「実社会問題に対する情報科学技術によるソリューションの実現」をテーマに学生さんが研究に取り組んでいます。何やら難しい内容なのかと思うかもしれませんが、そんなことはありません。皆さん普段の生活の中で不便だなとか、こうすればもっと便利になるのにとすることがたくさんあると思います。そのような問題を学生さんが自分で見つけ出しITによって解決することを研究しているのです。

長尾ゼミは、システム情報学科のゼミとしては珍しく3年生と4年生の合同で行っています。合同ゼミにすることで、3年生は、4年生にわからないことなどを教えてもらえますし、1年後に自分たちが行うであろう内容を予め知っておくこともできます。4年生には、後輩に教えられるよう、そして、負けないようにという緊張感が生まれます。

具体的な活動として、3年生の前期は、情報科学に関する学術論文の一つを選び、その内容をプレゼンテーションによって説明します。後期には、論文内容の一部をプログラミングなどによって追実験します。4年生は前後期を通して、学生が社会における問題を見つげ出し、それをITによって解決す

る研究を行います。今年度の4年生のテーマとしては、「脳波によるロボット操作」や「他大学の調査に基づく情報大学の学食の改善案」など、内容は非常に多岐に渡っています。また、教員の専門の一つが観光情報学という分野であることから「定山溪での観光によるストレス解消の検証」や「厚岸町の観光振興に向けたAR観光の提案」など観光に関する研究テーマも多く実施しています。

普段はいたって真面目にゼミナールをしています。ゼミ生でパークゴルフに行ったり、ゼミ内フォトコンテストを開催したりとレクリエーションもたまに行っています。

齊藤ゼミ 医療情報学部 医療情報学科



医療情報学科334研究室は、バイオインフォマティクス（生命情報科学）を専門としています。生命情報科学では、医学や生命科学の諸問題をコンピュータを使って解き明かしたり、生物（集団）がうまくやっている様子を応用し、コンピュータ上に再現して現実の問題を上手に解いたりします。コンピュータを使って今までは何か別

のことをやってみたくか、生命科学や医学の問題についてじっくり考えてみたいとか、何か人とは違うことをやってみたくかという方は、研究室を覗いてみるのもいいかもしれません。

研究室では、基本的には各々がやってみたくことや知りたいことを各自調査して発表する、という活動を主にこなっています。内容は何でもいい、ということにしているので、生命科学やコンピュータに関することと共に、睡眠の仕組みとそれを利用した早起きの方法とか、ダイエットの記録とかを発表する学生もいます。皆さん自由な発想で自分が面白いと思ったことを発表し、それについて様々な角度から議論しています。個人個人の発表は大した分

量ではありませんが、やってみれば、簡潔にまとめた資料を作成すること、問題やその解決策について分かりやすく説明すること、自分が面白いと思う問題を他人にも面白いと思ってもらうことに気づくと思います。この他、コンピュータプログラム実習や、バイオインフォマティクスの教科書輪講なども行なっています。

ゼミでの活動を通じて、自ら考え、至るところにある問題に気づく力や、情報の洪水の中から必要なものを見つける力、そして自らの問題解決を他人と共有できる力を見につけ、社会人としてより良く生きるためのスキルを磨いてもらえればと考えています。

藤井ゼミ 情報メディア学部 情報メディア学科



藤井ゼミでは、プログラミングに取り組むことを通して「自ら問題を解決する力を身につけること」を目標としています。

2年間のゼミ活動において、4年生は各自がテーマを設定して卒論に取り組めます。ここ数年の傾向としてスマートフォン関連の割合が急増しています。具体的な内容については卒業研究・制作報告集を参照願います。

以下では、3年生の活動を紹介します。ゼミ配属となる学生の大部分はプ

ログラミングに関して講義で習ったことを十分に咀嚼できていない状態です。そこで当ゼミでは8年前から全員がロボットのプログラミングに取り組んでいます。理由は、全員が初心者の方であること、プログラムの働きをロボットの動作として確認できること、アイコンを配置することでプログラムを作成できるのでCやJavaなどと比較して敷居が低いことです。苦手を意識を払拭しつつ新たな視点でプログラミングに習熟することを狙いとして

います。自学自習の形態で、基本的な課題から始めて最後に難度の高い課題に取り組みます。最近の題は、フリーキック大会、障害物競走、柱を登ってボールを回収、階段昇降などです。

今年の題は、「ボールを検知して打ち返す」です。「ボールは床を転がって来る」という条件を設定しましたが、様々な実現形態でゴールが見えてきました。もしかすると「空中でボールを打つ」ロボットを見ることができるとも期待が膨らんでいます。



毎年くるのに、わくわくする。

冬

海外事情に参加して

システム情報学科3年 加川朔太郎

2013年8月10日、新千歳空港から成田経由でアメリカのシアトルにあるタコマ空港へ向かいました。出発前夜は緊張して眠れませんでした。



8月10日のお昼に出発して、9時間以上飛行機の中だったのに、時差の関係で8月10日にシアトル到着。時差ボケを体験し、飛行機で酔った私でしたが、アメリカに来たからにはアメリカを満喫してやるという気持ちでした。その後、昼食でREDROBIN(ハンバーガー屋)に行きました。ホテルに戻ってすぐに寝ましたが時差ボケのせいで4時くらいに起床。友達を連れてホテルの横にあるデニーズに行きました。店員は英語しか話せないから、注文だけでもひと苦労でした。双方の店の食事の量はとても多かったです。アメリカンサイズの洗礼です。そのあと全員で

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後にはシアトル観光または学校見学

でした。一番楽しかったのはアメリカの音楽のミュージアムのようなEMPです。あまりアメリカのミュージシャンは知らないけど、名前だけは知っているジミ・ヘンドリックスやニルヴァーナの使用していたギターや衣装があり、その中でもギターでできたタワーはとてもカッコいいものでした。土曜日はクルージングと海辺でBBQの2つがありました。どちらも楽しかったのですが、結局これも放課後の方が楽しかったです。特にBBQの後、あちらで知り合った日本語が話せない友達(全員女性)と私でカヤックに行きました。楽しかったけど、ここで一番英語力のなさを痛感しました。スマホや電子辞書をフル活用して頑張って会話しました。OKとかYESくらいしか話せないのに助けてくれたことは大変感謝しています。色々なことがありましたが、アメリカで多くの人たちとコミュニケーションを英語で行うことによって、自信がついたと思います。友達も多くできました。しかし、言葉の壁のせいで十分楽しめなかったこともありました。高校のときは英語の授業が嫌いでサボっていましたが、今、私は今までで一番英語を勉強したいです。そして、日常会話ができるようになりたいです。

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後にはシアトル観光または学校見学

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後にはシアトル観光または学校見学

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後にはシアトル観光または学校見学

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後にはシアトル観光または学校見学

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後にはシアトル観光または学校見学



海外事情の感想

システム情報学科3年 山口大貴



中央が筆者

私は、8月10日から9月1日までアメリカのシアトル郊外にあるレイクワシントン工科大学(LWIT)での海外事情に参加して、ホームステイも経験しました。海外を訪れたのは初めてだったので、とても楽しかったです。研修期間は短いようで長かったけど、アメリカの風習や文化など学ぶことが出来ました。

シアトルに着いてからは飛行機の疲れがあったので、すぐ寝ました。そして夜中に起きてお腹がすいたので友人と近くのレストランに行きました。全てが英語でどれくらいのサイズで来るのか、何が来るのかわからないので写真を参考に頼みました。案の定、頼んだもののサイズが大きすぎて食べきれませんでした。

2日目は予定がなく、1日フリーだったので引率の先生をはじめ、みんなで買い物に行きました。いろいろお店を見て回っていたのですが、どこの店の服のサイズも大きくて驚きました。さすがアメリカ!と思いました。

その後、次の日から通うLWITに行きました。担当の先生の紹介や、施設の説明が終わったあと、ホームステイでお世話になる家族との対面。すごく

緊張しました。家には中国人の留学生がいる家庭でした。英語が話せないし、リスニング能力がない私には何を言っているのかわからず、どう答えていいかわかりませんでした。

それから午前中は大学で授業を受けて、午後からはシアトルを見学したり、大学でセミナーを受ける毎日でした。授業形態としては、英語で出来事の話したり、政治問題などの考えを述べるなど意見交流がありました。その他には、4~5分のスピーチをしたり、英語を勉強するメリットとデメリットをグループディスカッションしたりしました。

次に、アメリカに来て感じた、日本とは違うことを述べたいと思います。まず最初に、土足生活です。来る前からわかっていたのですが、やはり日本で土足厳禁の生活に慣れているので抵抗がありました。そして、風呂場とトイレが一緒なこと。一人がシャワーを使っていると、トイレに行けませんし、バスタブがなくシャワーだけということにも驚きました。

日本では飲酒・喫煙ともに20歳からですが、アメリカでは飲酒は21歳、喫煙は18歳からなので違和感がありました。そしてアメリカの人たちは、喫煙に敏感だということです。最初にホームステイ先のホストマザーと会った時も、絶対に吸わ

ないでほしいと言われました。アメリカは日本よりも喫煙者が多いと思っていたので驚きました。

そして、食べ物です。とにかく塩分や糖分が多い。サイズが大きいのもありますが、パンやケーキなど糖分が多く甘いものばかりでした。着色料も多かったです。

一番驚いたのが、日本の回転寿司は100円が当たり前なのに、アメリカでは一番安い皿でも250円くらいでした。でするので、日本の食べ物で海外に進出すれば儲かると思いました。

最後に、今回アメリカに来て思ったほど英語が身に付きませんでした。ホームステイ先の父と母が寝るのが早かったのであまりコミュニケーションを持ってませんでした。それで、友人とほぼ毎日のように買い物に行ったりしていました。それでもバスの乗り方など、自分たちで調べなければならなかったのが大変でしたが、色々なことに挑戦できたので、私にとっては良い経験となりました。今度来る時は現地の人とのコミュニケーションをもっと大切にしたいと思いました。



海外事情に参加して

システム情報学科3年 加川朔太郎

2013年8月10日、新千歳空港から成田経由でアメリカのシアトルにあるタコマ空港へ向かいました。出発前夜は緊張して眠れませんでした。



8月10日のお昼に出発して、9時間以上飛行機の中だったのに、時差の関係で8月10日にシアトル到着。時差ボケを体験し、飛行機で酔った私でしたが、アメリカに来たからにはアメリカを満喫してやるという気持ちでした。その後、昼食でREDROBIN(ハンバーガー屋)に行きました。ホテルに戻ってすぐに寝ましたが時差ボケのせいで4時くらいに起床。友達を連れてホテルの横にあるデニーズに行きました。店員は英語しか話せないから、注文だけでもひと苦労でした。双方の店の食事の量はとても多かったです。アメリカンサイズの洗礼です。そのあと全員で

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後はシアトル観光または学校見学

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

月曜日は初めてホームステイ先の家族に出会いました。家族はパパ、ママ、息子の三人構成で中国系の家族でした。また、中国人留学生もいました。家にいないことが多かったのですが、1回だけゲームをしました。日本語も少し話せて、いい人でした。パパ、ママは朝と夜が早くてゆっくり話す時間は夕食時くらいでした。でも、毎日「今日はなにをした?」とかお昼ご飯を作ってくれたりと優しくかったです。餃子がおいしかったです。平日の午前中は学校です。先生はデイビー先生。もちろん先生は英語しか話せません。みんなで協力して先生の言っていることを理解して頑張りました。みんなでディスカッションしたり、宿題もちょくちょくあって、全文英語のレポートを初めて作りました。いろいろなことを英語のレポートにしましたが、一番楽しかったことは折り紙について語ったことです。日本文化の再発見にもつながり、よかったです。午後はシアトル観光または学校見学

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

バスに乗ってショッピングモールに行き、買い物をしました。

海外事情の感想

システム情報学科3年 山口大貴



中央が筆者

私は、8月10日から9月1日までアメリカのシアトル郊外にあるレイクワシントン工科大学(LWIT)での海外事情に参加して、ホームステイも経験しました。海外を訪れたのは初めてだったので、とても楽しかったです。研修期間は短いようで長かったけど、アメリカの風習や文化など学ぶことが出来ました。

シアトルに着いてからは飛行機の疲れがあったので、すぐ寝ました。そして夜中に起きてお腹がすいたので友人と近くのレストランに行きました。全てが英語でどれくらいのサイズで来るのか、何が来るのかわからないので写真を参考に頼みました。案の定、頼んだもののサイズが大きすぎて食べきれませんでした。

2日目は予定がなく、1日フリーだったので引率の先生をはじめ、みんなで買い物に行きました。いろいろお店を見て回っていたのですが、どこの店の服のサイズも大きくて驚きました。さすがアメリカ!と思いました。

その後、次の日から通うLWITに行きました。担当の先生の紹介や、施設の説明が終わったあと、ホームステイでお世話になる家族との対面。すごく

緊張しました。家には中国人の留学生がいる家庭でした。英語が話せないし、リスニング能力がない私には何を言っているのかわからず、どう答えていいかわかりませんでした。

それから午前中は大学で授業を受けて、午後からはシアトルを見学したり、大学でセミナーを受ける毎日でした。授業形態としては、英語で出来事を話したり、政治問題などの考えを述べるなど意見交流がありました。その他には、4~5分のスピーチをしたり、英語を勉強するメリットとデメリットをグループディスカッションしたりしました。

次に、アメリカに来て感じた、日本とは違うことを述べたいと思います。まず最初に、土足生活です。来る前からわかっていたのですが、やはり日本で土足厳禁の生活に慣れているので抵抗がありました。そして、風呂場とトイレが一緒なこと。一人がシャワーを使っていると、トイレに行けませんし、バスタブがなくシャワーだけということにも驚きました。

日本では飲酒・喫煙ともに20歳からですが、アメリカでは飲酒は21歳、喫煙は18歳からなので違和感がありました。そしてアメリカの人たちは、喫煙に敏感だということです。最初にホームステイ先のホストマザーと会った時も、絶対に吸わ

ないでほしいと言われました。アメリカは日本よりも喫煙者が多いと思っていたので驚きました。

そして、食べ物です。とにかく塩分や糖分が多い。サイズが大きいのもありますが、パンやケーキなど糖分が多く甘いものばかりでした。着色料も多かったです。

一番驚いたのが、日本の回転寿司は100円が当たり前なのに、アメリカでは1番安い皿でも250円くらいでした。ですので、日本の食べ物で海外に進出すれば儲かると思いました。

最後に、今回アメリカに来て思ったほど英語が身に付きませんでした。ホームステイ先の父と母が寝るのが早かったのであまりコミュニケーションを持ってませんでした。それで、友人とほぼ毎日のように買い物に行ったりしていました。それでもバスの乗り方など、自分たちで調べなければならなかったのが大変でしたが、色々なことに挑戦できたので、私にとっては良い経験となりました。今度来る時は現地の人とのコミュニケーションをもっと大切にしたいと思いました。



3年生の就職活動がスタート！

12月1日に3年生の就職活動がスタートしました。北海道でも札幌ドームや札幌コンベンションセンターで大規模な合同企業説明会が行われ、いよいよ就職活動の本格開始時期となりました。

本学においては、12月からスタートが切れるように、5月から各種就職ガイダンスを実施してきました。11月には通常行っている就職ガイダンスとは別に、就職活動のスタート直前講座として土曜日に「エントリーシート対策強化講座」や「面接試験対策強化講座」を実施し、約230名の学生が参加しました。また、11月中旬から下旬にかけては、IT業界や流通業界など各種業界セミナーを実施し、延べ約1,000名の学生が企業の人事担当者等から話を聞きました。就職活動は社会



1年生の全体説明会は、富士学長からの挨拶と本学の概要についての説明、穴田教養部長より教育目標について、中村就職部長より就職状況について、木田教務課長より教務関係についての説明がありその後、各クラス担任との個別面談が行われました。

また、3年生の全体説明会では、富士学長からの挨拶と本学の概要についての説明、中村就職部長より学生の就職支援、就職状況について、谷川研究科長より大学院についての説明が行わ

にデビューするための準備期間とはいえ、多くの困難に直面することと思います。初めてのことでばかりで、緊張したり慌てたりすることも多いでしょう。しかし、これを乗り越えると、精神的に一回りも二回りも大きくなります。エントリーシートや面接などで、何か困ったこと、分からないこと等があれば、遠慮なく相談に来てください。これから数ヶ月、長ければ1年近くの就職活動となりますが、学生サポートセンターでは学生の皆さんを万全のサポート体制でバックアップします。



就職ガイダンスの様子



エントリーシート対策強化講座の様子

保護者と教員との懇談会が行われました

平成25年度の保護者と教員との懇談会を、平成25年9月28日（土）に本学において1年生と3年生の保護者を対象に実施いたしました。

れた後、各ゼミ担当教員と個別面談が行われました。

この懇談会は、保護者の皆様に本学の教育目標や本学が目指す人材育成、教育の実情、就職状況等を理解していただくとともに、学生の修学状況や学生生活の現状、卒業後の進路等について個別に懇談できる機会としております。

保護者の皆様は担当教員との懇談と併せて、教務課及び学生サポートセンター事務室で学業や学生生活の状況、

卒業後の進路・就職活動等について熱心に質問されておりました。

懇談会の合間に施設見学を実施し、2年前に建てられたeDCタワー、図書館の自動書庫等を案内させていただきました。

ご多忙中にもかかわらず遠方からも多数の保護者の皆様にご出席いただいたことに感謝申し上げます。今後とも、本学の教育のさらなる推進に、保護者の皆様のご協力を賜りたいと思っております。

秋の食生活改善運動「1COIN朝食」が実施されました。

江別市に所在する4大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画で実施していますこの運動も、今回で12回目（平成20年度から春・秋に実施）を迎えました。

朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、次第に朝食の欠食が多くなっているのが実情です。朝食によって、一日の始まりとしてのエネルギーをしっかりと取り、朝食を食べる習慣づけができればと1コイン（100円）でこの運動を実施しています。



本学学生が制作したポスター



3日目「中華」のセット内容



朝食たべて、
授業もがんばるぞ！
(◡ ◡ ◡) っ！



北海道情報大学ポスターデザインコンテスト

34点の応募があり、8作品が受賞しました。

本学学生の学習成果の発表の機会とデザイン制作のスキルアップ。また、自主的な発想で新しい表現に挑戦する場としてコンテストを開催する。との趣旨で7月から募集をスタートしました。審査結果は下記のとおりとなっています。

- **最優秀賞** (賞金3万円) 該当者なし
- **優秀賞** (賞金2万円)
 - 1022066 山田 ひかり
 - 1023022 原田 千春
 - 1222023 滝山 智美
- **奨励賞** (賞金1万円)
 - 1122006 佐藤 翔吾
 - 1122022 池澤 千章
 - 1122028 高島 茜
- **アイデア賞** (図書カード5000円分)
 - 1122043 小林 礼佳
- **未来賞** (図書カード5000円分)
 - 1122050 林 哲郎

■ 講評

全体的にアイデアはよいが、デザインの完成度が十分ではなく最優秀賞の該当作はなかった。来年以降も開催するので、最優秀賞を目指して素晴らしい作品を作って応募してください。

・優秀賞の山田さん
女性の横顔と広がるイメージ、情報ツールなどを繊細なイラストにして新しい展開の作品。情報量を増やし全体像が伝わる事を考えて欲しかった。

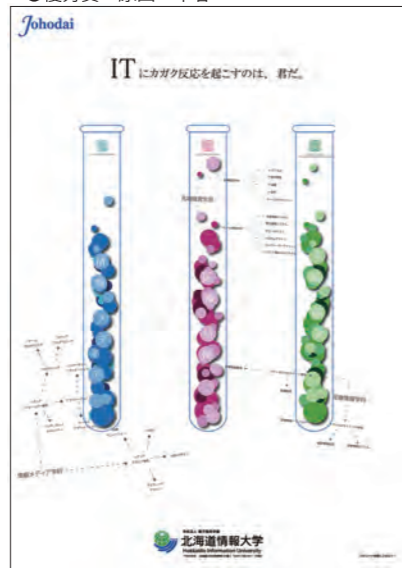
・優秀賞の原田さん
化学反応をイメージした着眼点は人目をひき、非常に良い。レイアウトを少し修正し、インパクトの弱さを克服して欲しい。

・優秀賞の滝山さん
おもしろい！が細かいレイアウトの処理が出来ていない。チラシっぽさを克服して欲しい。

●優秀賞 山田 ひかり



●優秀賞 原田 千春



●優秀賞 滝山 智美



- ・奨励賞の佐藤君／ポスターとしての完成度は良いが、新鮮さが無い。キャッチコピーがわかりにくい。
 - ・奨励賞の池澤さん／楽しいアイデアでよいが、レイアウトが大味(おおあじ)でもう少し繊細に。
 - ・奨励賞の高島さん／さすが！堂々とした作品だが、大学はキミの色に染まらないぞ！との意見が。
 - ・アイデア賞の小林さん／着眼点が良い。
 - ・未来賞の林君／繊細なデザインとコピーがよい。
- ※講評をふまえ、修正したデザインを一部掲載しています。

●奨励賞 佐藤 翔吾



●奨励賞 高島 茜



●アイデア賞小林礼佳 ●未来賞 林 哲郎



第1回 HIU ポスターデザインコンテストの表彰式が12月11日(水)12時20分より実施されました。

受賞作品と、応募作品の全作品が展示される中、富士学長の挨拶で始まり上位受賞者8名が表彰されました。

会場のインフォメーションセンターにはコンテストの実行委員の先生達と見学の学生が集まり、優秀賞から順に表彰状と賞金が授与されました。

それぞれの作品に短い講評があり、受賞者の一言もありました。

広報室の感想があり、次に実行委員を代表して準田先生の総合評価がありました。

プロデザイナーの徳中先生、村田先生から情報大学のデザインレベルを高く評価しているという感想があり、実行委員の先生達も来年の開催も楽しみですと仰っていました。

最後に中居常務理事の学外のプロジェクトにも参加して実力を発揮して欲しいとお話があり、記念写真を撮り、閉会となりました。



優秀賞の原田千春さん



優秀賞の滝山智美さん



優秀賞の山田のひかりさん



受賞作8点の展示

北海道情報大学大学院

経営情報学研究科経営情報学専攻（修士課程）学生の学会発表について

日本情報経営学会 第67回全国大会（於：徳山大学）

9月28日	清野 和宏	ビジネスプランプログラム	修士課程2年
	「北海道の私立大学における授業アンケート調査の統計解析」		

エンタテインメントコンピューティング2013（於：サンポートホール高松）

10月4日～ 10月5日	岩田 まどか	メディア制作論プログラム	修士課程1年
	「ソースコードの可視化・可聴化によるメタ認知的学習支援手法の研究 ーメディアアートの要素を取り入れたアプリケーション開発ー」		
	熊谷 賢二	情報処理プログラム	修士課程1年
	「参加型プロジェクションマッピングによる塗り絵コンテンツの提案」		

情報処理北海道シンポジウム2013（於：室蘭工業大学）

10月5日	高橋 基	ネットワーク技術プログラム	修士課程2年
	「SDNを構成するネットワークサービス間の連携を実現する方式に関する研究」		

日本情報経営学会第67回全国大会



清野 和宏君

エンタテインメントコンピューティング2013



熊谷 賢二君



岩田 まどかさん

情報処理北海道シンポジウム2013



高橋 基君



熊谷 賢二君の作品と展示の様子



定期健康診断結果

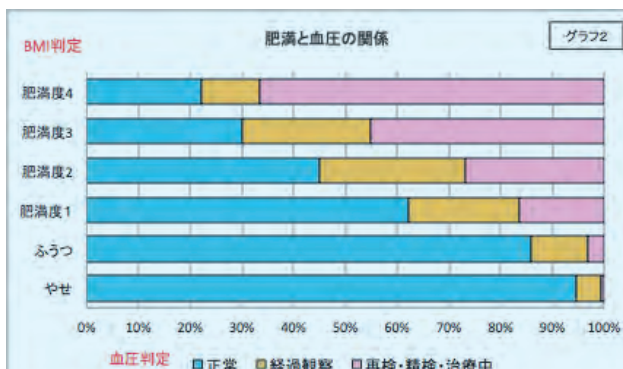
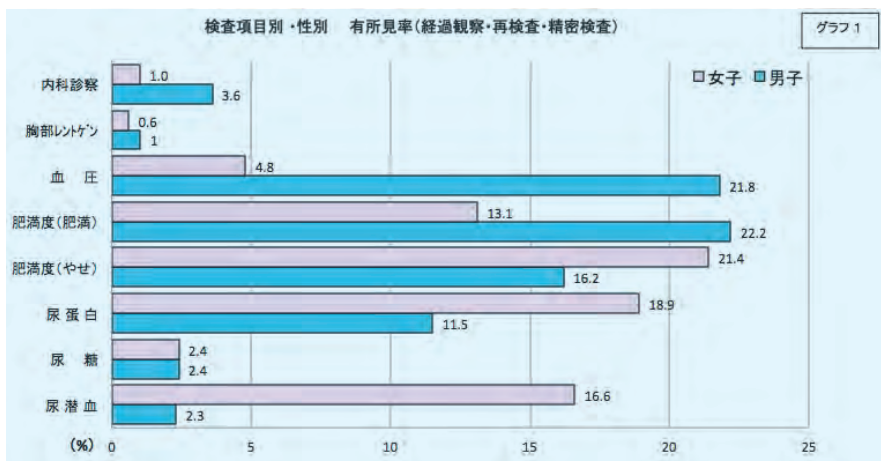
1. 定期健康診断結果について

平成 25 年度学生定期健康診断を 4 月上旬に実施し、受診率は 95.4% でした。健康診断の項目は、身長・体重・視力・聴力・血圧・尿（蛋白・糖・潜血）・内科診察・胸部レントゲン・問診・保健調査です。（胸部レントゲンは 1 年生・4 年生全員と医療情報学科の 2 年生・大学院生が対象となっています）

経過観察・再検査・精密検査の必要な「有所見者」の割合は下記（グラフ 1）のとおりです。男子学生は、「肥満」と「血圧」の有所見率が高く、女子学生は、「やせ」と「尿蛋白・尿潜血」の有所見率が高い傾向が認められました。尿検査については、保健センターでの再検査の結果「異常なし」となった学生が多く、特に「尿蛋白」については、検査機関が昨年度から変わり検査方法も変更になっていることが影響していると思われます。女子学生の「尿潜血」の有所見率が高いのは、生理中の学生も全員「尿検査」を実施している為、一次健診での有所見率が高くなっています。

2. 肥満と高血圧について

「学生の健康白書 2010」でも全国の男子学生の肥満率（11.8%）は女子学生の肥満率（6.0%）に比べて高い傾向が認められていますが、本学でも、男子学生の肥満率（22.2%）は、女子学生の肥満率（13.1%）よりも高くなっています。（男女とも全国の学生よりも肥満率が高い傾向）また、肥満の中でも体格指数（BMI）30 以上の男子学生が 7.0%、女子学生が 3.8% で男子学生により「太りすぎ」の傾向がみられます。BMI の数値が高い学生は血圧も高く、肥満と血圧には正の相関関係



3. 自覚症状について

自覚症状が「ある」と回答した学生は、777 人（45.4%）（グラフ 3 参照）男女とも、「身体が疲れやすく、だるい」

「いらいらする、不安を感じる」が 1 位、2 位となっています。

◇男子学生の自覚症状ベスト 5◇

- 1位 身体が疲れやすく、だるい 149 人
- 2位 いらいらする、不安を感じる 138 人
- 3位 太ってきた 121 人
- 4位 眠れない 107 人
- 5位 皮膚にできものができやすい 89 人
- 5位 眼が疲れたり、かすんだりする 89 人

◇女子学生の自覚症状ベスト 5◇

- 1位 身体が疲れやすく、だるい 54 人
- 2位 いらいらする、不安を感じる 42 人
- 3位 めまいや立ちくらみがする 37 人
- 4位 便秘する 25 人
- 5位 頭が痛い、重い 20 人

*回答は複数回答

肥満は生活習慣病「高血圧」「高脂血症」「糖尿病」等の発症の原因になるため、肥満傾向のある学生は是非、適正体重に近づけるために「減量」に取り組んでいただきたいと思います。

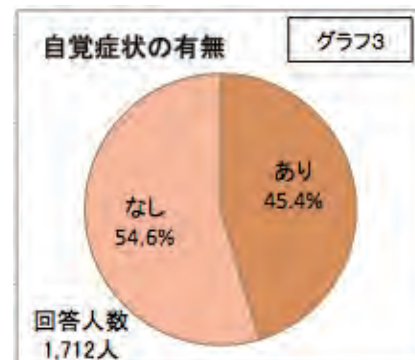
「減量」は、適正体重になる過程で血圧も正常化されるため「肥満」と「高血圧」の両方が改善され一挙両得の効果が見られます。

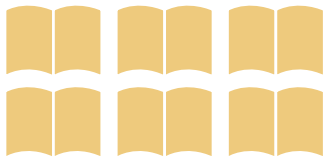
*BMI（ボディ・マス・インデックス）は身長と体重から算出される体格指数で、肥満度の判定のひとつです。BMI が 22 前後の場合、生活習慣病になる確率が低いとされています。

$$BMI = \text{体重 (Kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

$$\text{適正体重} = \text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)} \times 2.2$$

判定(日本)	BMI指数
やせ	18.5未満
正常	18.5以上25未満
肥満(1度)	25以上30未満
肥満(2度)	30以上35未満
肥満(3度)	35以上40未満
肥満(4度)	40以上





第6回北海道情報大学 図書館賞



12月2日に第6回(2013年度)北海道情報大学図書館賞の審査結果が発表され、表彰式が12月13日に行われました。この図書館賞は、文章の理解力や表現力の向上を目的として創設され

たものです。

現在では、南京大学日本語学科の学生も参加し、国際色豊かなものとなっております。本年は、第一部門：読書感想文二十四編、第二部門：小論文四

編の計二十八編の応募があり、厳正な審査の結果、下記の作品が受賞になりました(審査委員長の講評と優秀賞受賞作品の紹介は次号以降順次掲載いたします)。



第6回(2013年度)北海道情報大学図書館賞 審査結果一覧

第一部門：読書感想文

■最優秀賞(該当作品なし)

■優秀賞◇副賞：図書カード(二万円)

- ・ベンジャミン・バトン その生と死
中川 翔 先端経営学科3年

・『星の王子様』を読んで

早瀬 仁哉 情報メディア学科1年

■佳作◇副賞：図書カード(一万円)

- ・星のかけらを読んで
中田 千智 情報メディア学科2年

・『今すぐやる人が成功する』を読んで

山沢 琴美 先端経営学科1年

・『夏の庭 The Friend』を読んで

阿部 奈穂 情報メディア学科1年

■奨励賞◇副賞：図書カード(三千元)

・『吾輩は猫である』を読んだ感想文

朴 美虹 南京大学2年

受賞の喜びを語る二人



優秀賞
中川 翔 さん



優秀賞
早瀬 仁哉 さん

第二部門：小論文

■最優秀賞(該当作品なし)

■優秀賞◇副賞：図書カード(二万円)

- ・『こころ』における「私」と「先生」の関係について

柴田 甚一 通信教育部3年

■佳作◇副賞：図書カード(一万円)

- ・「日常生活におけるコミュニケーション上の失敗を減らすための工夫について ～情報処理における一考察から～」

館巖 晶子 通信教育部3年

■奨励賞◇副賞：図書カード(三千元)

・TPPについて

副島 那月 先端経営学科2年

OPAC 活用方法

皆さんは、OPACを利用したことがありますか？OPACとはOnline Public Accses Catalogの略で、自分の探している本が図書館にないか気軽に検索することの出来る図書館蔵書検索システム

のことです。書名や著者名がわかっているときはそのまま該当の箇所キーワードを入力すると検索が出来ますが、書名の一部だけわかるときや、短いタイトルの本だと、本があるのか

わかりづらいことがあるかと思ひます。そのような時は、検索方法を工夫してみましょう。下記の表をご覧ください。

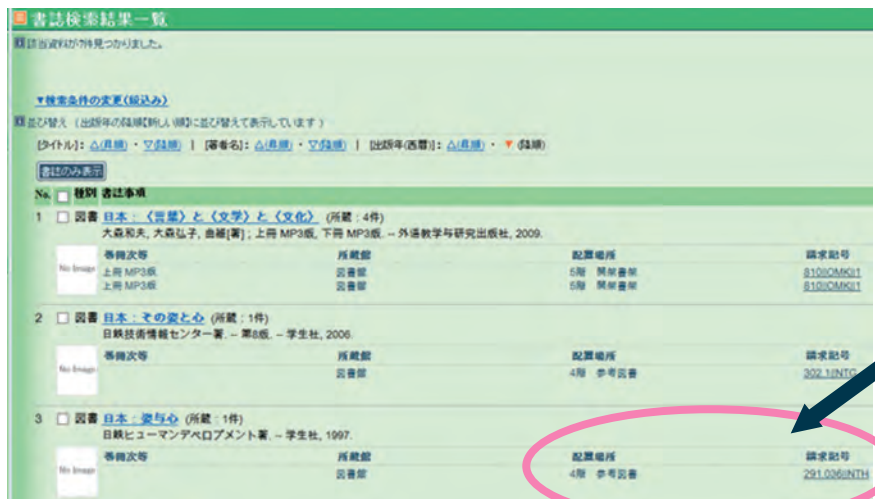
検索例	入力例 (項目: 検索値)	ヒット例
① タイトルに「日本」というキーワードを含む資料を検索する場合	タイトル: 日本	日本の歴史 日本昔話 アメリカと日本
② タイトルが「日本」という資料を検索する場合 (完全一致)	タイトル: #日本	日本
③ タイトルが「日本」で始まる資料を検索する場合 (前方一致)	タイトル: #日本*	日本の歴史 日本語 日本文学研究史
④ タイトルが「日本」で終わる資料を検索する場合 (後方一致)	タイトル: #*日本	アメリカと日本 古代日本 日本

上記表の②を例に実際にやってみましょう。北海道情報大学図書館のHPの蔵書検索(OPAC)をクリックします。「簡易検索」と書かれた緑の入力画面が表示されたら、タイトルの欄に「#日本」と入力します。入力が終わったら、「検索」をクリックしてください。



書誌検索結果一覧を見ると、「日本」というタイトルの本が検索されています。(:以降はサブタイトル)

検索した本を見たい時には、配置場所と請求記号を元に本を探してください。わからない時はお気軽に図書館スタッフまでお声がけください。





Johodai Brass Band - 吹奏楽部 -

少人数でも楽しめる「音楽」がここにあり！
みんなで楽しく演奏しています♪

創部 6 年目、まだまだ小規模なサークルですが、少人数でも楽しめる「音楽」を目指して練習しています。今年度からは部員が大幅に増え、新しい楽器倉庫もでき、さらに力をつけ始めています。

今年度は、オープンキャンパスの部活紹介・蒼天祭・クリスマスパーティで演奏をする機会がありました。蒼天祭には毎年参加しているので、ぜひ足をお運びください！演奏活動以外にも、体育祭や交流会など、親睦を深める機会がたくさんあります。

演奏活動はまだまだ少なめですが、これからももっと多くの人に私たちの演奏を届けられるよう頑張っていきます！

少人数でも楽しめる部活ですが、もっと仲間が欲しいと思う日々……。私たち吹奏楽部は、一緒に演奏を楽しめる仲間を募集しています。楽器経験は問いません。吹奏楽に興味があり、やる気のある方は大歓迎です！見学はいつでも受け付けています。普段は講堂で練習しているので、ぜひ遊びに来てください。



「蒼天祭」 ステージ演奏 みんなで仮装して楽しく演奏しました♪



H I U系女子の活動日記

11がつ6にち さむい

もうそろそろ 就活が本格化…?

先端経営・医療・メディアの各学科から女子を収集し(笑)、eDCタワー2階のカフェで食事をしながらの座談会を開催しました。3年の学生が多かったので今回は就職活動について話をしてもらいました！ Chiaki

参加メンバー

・先端経営学科



・医療情報学科



・情報メディア学科



- Q: どんな仕事に就きたいですか？
- A: どんな仕事…。あんまり疲れない仕事のほうがいいな。(笑)
- Q: 2人は医療だから病院関係に就くの？
- A: 病院じゃなくて…一応医療の資格は取るけど、企業系に入りたいんだよね、薬関係の。製薬会社とか。
- Q: できれば病院、医療関係の企業も志望している。
- Q: 病院に入るほうが難しいってことあったりするの？
- A: 札幌とかの病院に行きたい場合

- は、結構大変かなあ…ていう。倍率高いってのはあるかも。
- Q: 具体的にここの会社に行きたい！とかって決まってる？
- A: 決まってないけど…けどいろいろ受けて、内定いただければ…実家から通えたらいいなあ。
- Q: 経営関係じゃなくて、結婚式場！
- A: ウエディング系に就きたいの？私も就きたかった！
- Q: そうなんだ！で、美容の専門学校も考えたんだけど、それはちゃんと勉強してからでいいなって。
- Q: メイクとかじゃなくて、プランナーってこと？それは資格なくても大丈夫なの？
- Q: 通信教育で取れるみたい。ブライダルプランナーや、コーディネーター。企画的なものね。
- Q: ブライダル系も受けたヨ！実際にやる教会で説明会があったり、ブース用意してやる会社もあるんだけど、そこに行ってからじゃないと内容がわからないから、行きたい会社の説明会行くのが一番早いかも。
- Q: それって求人っていうか…自分で探すんですか？全部。
- A: 学サポに相談するといいよ。リクナビ等でも調べたら北海道で説明会やってるところが何社もあるし。
- Q: 何月くらいから就活始めました？
- A: 私ね、インターンシップに行くと、アピールしていたの！
- Q: 先輩に就活についての話を聞いて

- たりしたことはある？
- Q: ゼミの人が、企業…広告系だよな？読売新聞の広告会社に入ったみたい、すごいよね。
- Q: え、メディアじゃなくて医療から？教えて！その道(笑)
- Q: 就職するために何か資格持ってる？それか、取る予定の資格は？
- Q: 医療系の取る予定なのが今月あるんだよね。今MOSしか資格持っていないから頑張らないと。
- Q: 就活に向けてってわけじゃないけど、MOSのワードとエクセルだけ取った。デザイン系だから色彩検定取ったけど、それよりDTPの知識とかデザインの力をつけなきゃ〜。医療関係は資格が一番大事だよな！命を預かる職場だから。
- Q: デザインセンスオンリーでNO資格で生きてきました。(笑)
- Q: 企業が求めているのは、いろいろな面で、その会社で力を発揮できるかだから、「大学でこういうこと、例えばプロジェクトや、サークルを束ねていました」というコミュニケーションをアピールするのも強いと思う！
- Q: 本日のまとめ
- A: 学部に関係なく、ブライダル関係が人気！(笑) また、就職活動に備えて黒髪に染め直すことへの不満も少しだけ耳にしました。絶対就職はしたい、資格も欲しい！けれどやっぱりオシャレもしたいし楽しいことをしたい！頑張れ！就職活動。頑張れ！オシャレ。



この先生の

裏

の顔シリーズ



第2回 浜淵 久志 先生 医療情報学部

20XX年X月X日、土曜日。この国の政府は人が発する電磁波や脳波の個体識別技術と無数のICタグやセンサーを使って、人の行動を監視しています。もちろんハッカー集団からなる人民解放軍が政府のシステムを攻撃しているうえ、システムに進入し情報をかすめとる会社も密かに営業しています。わが社もある人物から、ある男性の行動記録を作成するよう依頼をうけました。もちろんわが社は合法の範囲で依頼を受けています。さっそく、この人物のこの日の行動レポートが作成できました。

この人、朝6時前には起き、X年から紙の使用は温暖化対策で厳しく制限されたので、今では貴重品になった紙の新聞を何度も読み返しています。6時に、緑茶を入れました。茶葉は福岡県星野村の八女茶に限っているようです。お湯の温度調整が難しいようですが、なんとか家族の分も用意しました。お茶を飲みながらまた新聞を読みかえし、過去の知識と照らし合わせて頭に貯めているようです。いまではソフトウェアに任せる人が多いのにアナログなことです。

朝食は7時半、ホームベーカリーで焼いたパンにリンゴ、オレンジ、ニンジン

と自転車で出発、1時間で大学までやってきました。グラウンドでいきなり、学生相手に硬式ボールを投げ始めます。スピードはないようですが、コントロールと持久力はあるようです。選手に得意・不得意を感じさせるために、コースを狙って1時間半投げました。明日の日曜日も投げるようでこの日は余力を残してやめたようです。

練習が終わって、帰るのかと思うと、隣の畑でサクラノボの木の手入れをはじめました。過去何本も果樹を雪や日照りで駄目にしたようです。今回のサクラノボは3年ほどもっていますね。「学生と同じように、手間暇かけないとうまく育たない」とつぶやいています。

やっと家に向かって自転車のペダルをこぎはじめましたが、古本屋に立ち寄っています。情報がほとんどデジタル化されたため、古本屋もすっかり減りましたが、タグのついていない古本を好む人もいるので、生き残った店舗もあるようです。本を4冊ほど買って帰宅しました。デジタル化しないのでスペースがなく、家族には不評ですが、「カミの見えざる手」に導かれてなどと言いつし、寝ころがって本を何冊か読みました。また宮城谷昌光の『三国志』を読みかえました。

読めない漢字の人が多数出てくるのでヒットしなかったようですが、中国古典の英知の豊富さと「人と族と国家の盛衰が魅力的に書かれている」ところが気に入っているようです。

夕食はありきたりで、映画やスポーツ番組を見た後、また本を読み始め、11時を過ぎると寝ましたね。夢は若いころ、アラブの安宿で聞いた朝もやの中を流れるコーランの記憶などでした。この人このデジタル時代に映像やワープロを使う以外は、ほとんどがアナログの1日です。

このレポート、お役に立てたでしょうか。再度のご利用お待ちしております。



マックとビデオの ネイティブ 会話

ネイティブスピーカーが 教える 第2回 エマージェンシー会話 タクシー編

海外でタクシーに乗る時にいろいろなことが起こります。乗ったらまず運転手に行き先を告げますが、必ず問題なしのままで着けるとはかぎりません。もしもの場合に備えて練習してみましょう。

English



Charles McLarty

1981, 6/15 Portland State University-English Literature and Teaching English as a Second Language (B.A.) 1987, 6/15 Monterey Institute of International Studies-Japanese Studies (M.A.) 1993, 4/1~ 北海道情報大学 (講師、准教授)

中国語



田中 英夫

1994年3月 大阪市立大学大学院経営学研究科 (商学専攻) 後期博士課程修了 1999年4月 京都大学経済学部 (非常勤講師) 2000年4月 北海道情報大学経営情報学部 (講師) 2001年4月 ~ 北海道情報大学情報メディア学部 (講師、助教授、教授)

本学・北海道情報大学には、たくさんのネイティブスピーカーの外国人教員がいます。この先生達は、外国語の講座だけでなく、色々な研究・学習場面での外国語が必要なときにも指導やアドバイスに参加します。例えば、世界経済、ウェブサイトの研究に外国語は欠かせません。そんな時に、間違いのない外国語で表示できるのも、彼らの力があるからです。

ネイティブ会話

を動画で見よう!

お二人のネイティブ発音を
動画で聞きましょう!
こちら→

<http://www.youtube.com/watch?v=CyauxXDG9mA>



急いで、三越デパートへ
行って下さい。

I' m in a big hurry!
Please take me to
Mitsukoshi Department
Store right away!

快! 请送我去三越百货店。

クアイ! チンソンウオ チ
サエンユエバアイ ホオ ディエン。



あっつ!細かいお金がない!
おつりある?

哎呀! 我没带零钱。
有找的零钱吗?

アヤ! ウオ メエ ダアイ リン チエン。
イユ ツオ ダア リン チエン マ?

Sorry, but all I have
are large bills. Can you
make change?



暑いよ!エアコンを
入れて下さい。

It' s stuffy in here.
Could you put on the
air conditioner?

师傅、好热啊。
快开空调。

スフ、ハオラアア。
クアイ カアイ クウン テアオ。



ここです。
ここで降ります。

快停车! 就在这下车! Right here, please. Let
me off here.

クアイ テイン ツア!
ジュ ツアイ ズア シア ツア!



渋滞なので歩く方が早い!
ココで降りる!

This traffic jam is bad.
Walking is faster.
Let me off here, please

前面堵车了! 还是走着去快。
我在这下车吧

チエン ミエンドウ ツアラ!
ハイ シ ツウオ ツウ チクアイ。
ウオ ツアイ ツア シア ツア バ。



EBETSU PROJECTION MAPPING PROJECT

江別 プロジェクションマッピングプロジェクト

9月10日、江別神社秋期例大祭のお祭り会場、江別コミュニティセンターにてプロジェクションマッピングの実証実験を行いました。

制作スタッフとして、情報メディア学科の4年岡嶋貴仁くん、才田恵梨香さん、松橋拓哉くん、長谷川聖樹くん、宮崎遼くん、3年矢野湧太くん、藤井貴啓くん、アドバイザーとして、向田茂准教授、安田光孝准教授、大島慶太郎講師が参加しました。

場所：江別市コミュニティセンター 日時：2013年9月10日 時間：1回目18：50- 2回目19：20- 3回目20：40-
江別市プロジェクションマッピングプロジェクト アートディレクション：岡嶋貴仁 モーショングラフィック：才田恵梨香 藤井貴啓
3DCG：松橋拓哉 長谷川聖樹 宮崎遼 矢野湧太 監修：向田茂研究室 安田光孝研究室 大島慶太郎研究室
制作：江別プロジェクションマッピング実行委員会 後援：江別神社秋期例大祭露天実行委員会 共催：江別市

リアルな制作経験

EBETSU
PROJECTION MAPPING PROJECT

今回開催側からは、江別市の地域性やお祭りならではの特色を活かした内容と映像機器メーカーでは最高クラスのスペックの高輝度プロジェクターを2台使用できるとのことで、その性能を活かした規模での演出というオーダーがありました。

制作スタッフとして集まったメンバーは、何れもプロジェクションマッピングは未経験でしたが、それぞれのスキルを活かした分担作業で実制作期間が1ヶ月弱と短い中、懸命に作業に打ち

込んでいました。

アートディレクション担当の岡嶋くんは、クライアントのオーダーに忠実に応えようと、フィールドワークによるコンセプト設計から映像素材の企画・演出に、3DCG 担当の松橋くん、長谷川くん、宮崎くん、矢野くんは、壁面の煉瓦のテクスチャの動きや壁が

立体的にダイナミックに回転するマッピングならではの表現に、モーショングラフィック担当の才田さん、藤井くんは、各担当から上げられる素材に効果を加え、アニメーション素材の作成やサウンドとシンクロさせる為の編集作業にと、試行錯誤を何度もくり返しながら夏休み返上で取り組む姿には、



プロジェクションマッピングとは

プロジェクションマッピングとは、単にスクリーン状の平面への映像投影とは異なり、建物の壁面や立体的な構造物の表面等へ投影し、投影する面の形や凹凸、建材や装飾等に映像素材を合わせてあたかもその壁面や構造物が動いているかの様に立体的又は空間的にイメージを演出する映像表現です。数年前から、海外の大手企業の広告向けビックプロジェクトやアートイベント等の発表から注目を集め、国内でも2012年、東京駅リニューアルのセレモニーイベントが大きな話題となっていたのは記憶に新しいところです。以降、最近では地方イベント等の目玉として各所で扱われる機会も増え、今最も旬な映像メディアコンテンツです。

学生ながらにクリエイター魂を見せられた思いです。

前日のテスト投影の際も、色味やレイアウトが上手く反映されないことを

確認すると、岡嶋さんと藤井くんが本番直前の僅かな時間も無駄にせず柔軟に修正対応していた様子には作り手としてのプライドさえ感じました。



発表当日、一般向けにはシークレットのショーであったこともあり、お祭り会場へ集まった沢山の来場者から突然始まったプロジェクションマッピングに「わあ〜っ」と一斉に歓声が上がった瞬間には、私達教員も大変感動しました。メンバーの学生達も皆、苦勞が報われた充実感と満足感でとても良い表情を浮かべていました。

開催側からも大変好評で、今回は、お祭りでも初の試みということで実証実験という形での発表でしたが、次年度は正式なショーとして実施して行きたいというお話も上がり、とても良い結果となりました。

プロジェクトを終えて

EBETSU
PROJECTION MAPPING PROJECT

今回、参加したメンバーは、未経験の創作活動へ自分自身のスキルを活かしながらトライして行く過程やその成果を公に発表する緊張感を実感することで、制作者としての大きな経験ができたのではないかと思います。私自身も指導者として、プロジェクトを通じて学生達が技術的にも精神的にも急激に進歩する姿を見られたことは良い経験となりました。

プロジェクションマッピングについては、学生も含め映像クリエイターが様々な表現に取り組める新たなフィー

ルドが登場したなという印象と共に、地域活性の契機となり得る可能性も秘めたコンテンツであることを強く感じました。

今後も学生にとって自身の技術や表現を活かせる挑戦の場として、また地域に根ざした創作活動や研究成果のアウトプットとして、良い展開へと繋げて行きたいと思います。

最後に、この場をお借りして、今回このような機会を設けて下さった江別市や江別 PM 実行委員会の皆様に感謝申し上げます。

メンバーの皆も本当にお疲れ様でした！

情報メディア学部 講師 大島慶太郎



留学生の宿泊研修報告

国際交流・留学生支援事務室

室長 今長 豊



足寄里見公園

平成25年10月26日(土)、27日(日)の1泊2日で、外国人留学生委員会主催による宿泊研修を実施しました。参加者は外国人留学生、異文化交流会日本人学生、引率教職員の総勢61名です。行先は道東です。1日目は足寄 - 阿寒湖 - 摩周温泉街、2日目は摩周湖 - 硫黄山 - 屈斜路湖 - 層雲峡を巡りました。



摩周湖 留学生と異文化交流会学生



今回の研修目的は、9月に入学した聴講留学生の歓迎、学生間の親交、日本での団体行動のルールやマナーを理解すること、日本の自然に触れ様々な日本文化を体験することです。

二つの大型台風が日本列島に沿って北上しており、天候が心配されましたが、26日当日は曇りで時折、陽も指す天気でした。二日目の27日は、台風の影響で一時、強風も体験しましたが晴天に恵まれ摩周湖、硫黄山、屈斜路湖、美幌峠からの展望いずれも素晴らしく、絶景を眺めることができました。

摩周湖展望台で営業している売店の店員さんも「こんなにきれいな摩周湖が

見られることはめずらしい」と言っていました。二日間とも長距離のバス移動で疲労感はありましたが、車窓からの黄葉、紅葉、緑葉の景色に圧倒され、感動の連続でした。

今回の研修で道東の観光地を巡って感じたことは、昨年、一昨年に比べ外国(特にアジア)からの観光客が少しずつ増えて来ていることでした。東北大地震、福島原発事故、尖閣諸島問題など留学生たちの家族も国元で少なからず日本での留学生生活を心配されていると思います。

おかげ様で、宿泊研修は無事に楽しく終えることができ、留学生にとっても充実した2日間を過ごすことができました



屈斜路湖

と確信しています。そして母国にいる留学生の家族や関係者の皆様にも、留学生達が日本で元気に有意義な留学生生活を送っていることを知っていただき少しでも不安を取り除いて安心していただけることを願っています。

大学主要行事など

<8月2日~12月20日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

◇法人本部◇

《職員》
(昇任) 10月1日付
総務課 主任 前 裕子

◇大学◇

《職員》
(兼務を解く) 9月30日付
総務課長 川口 修一
(昇任) 10月1日付
総務課 課長代理 角谷 有規(総務課 課長補佐)
会計課 課長代理 河村 信司(会計課 課長補佐)
広報室 課長代理 小松田 昭人(広報室 課長補佐)
総務課 課長補佐 山隈 治子(総務課 係長)
広報室 課長補佐 富樫 恵一(広報室 係長)
入試課 主任 對馬 聡子(入試課)

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇法人本部◇

10月10日 理事会・評議員会
11月27日~29日 有限責任監査法人トーマツ「平成25年度期中監査」

◇大学◇

8月 3日 金曜授業日
4日 オープンキャンパス
5日 前期授業終了
6日~8日 合同試験
6日 A O入学試験(A日程)
9日~9月18日 夏期休業
19日~28日 夏期集中講義
25日 オープンキャンパス
29日~31日 追再試験期間
30日 臨時全学教授会
30日~9月10日 タイラジャマンガラ大学タンヤブリ校との
ワークショップ
9月 2日~4日 追再試験期間
6日 カリキュラムアドバイザーボード会議
7日~8日(日) A O入学試験(B日程)
13日 経営情報学部教授会
15日 A O入試・奨学金説明会
17日 国際FDエキスパートフォーラム2013
19日 情報メディア学部教授会
スタートアッププログラム
消防訓練
22日 後期授業開講
27日 全学教授会
28日 保護者と教員との懇談会
29日 TED x H I U
31日 前期末卒業者 学位記授与
10月 8日 金曜授業日
11日 経営情報学部教授会
12日~13日 蒼天祭
13日 オープンキャンパス
18日 医療情報学部・情報メディア学部教授会
19日 編入学試験(1次募集)
20日 A O入学試験(C日程)
22日~24日 中学生職場体験
秋の食生活改善運動
25日 全学教授会
29日~31日 中学生職場体験
26日~27日 留学生宿泊研修
29日 北海道シェイクアウト実施
11月 6日 月曜授業日
8日 経営情報学部教授会
9日 A Oセミナー
15日~16日 南京大学外国語学院 I T・日本語クラス編入学試験
医療情報学部・情報メディア学部教授会
16日 図書館市民見学会
23日 食と健康フォーラム2013
25日 全学教授会
12月 1日 推薦1期入学試験
4日 とわの森三愛高校との高大連携調印式
8日 入試説明会
13日 経営情報学部教授会
15日 キャンパス見学会
19日 ハラスメント防止研修会
20日 医療情報学部・情報メディア学部教授会
◇大学院◇
8月 8日 学位論文等中間報告会(兼北海道情報大学学術奨学生選考会)
11月21日 研究科委員会
12月 3日~4日 学位論文等事前審査会
◇通信教育部◇
8月 5日~10日 夏期スクーリング(2)
23日 秋期第1回入学者選考
9月 2日 後期 I Pメディア授業放映開始
6日 秋期第2回入学者選考
20日 秋期第3回入学者選考
10月 1日 後期インターネットメディア授業開始
3日 秋期第4回入学者選考
18日 平成26年度第1回入学者選考
11月 7日 教育責任者協議会
8日 秋田教育センター 大学見学
15日 平成26年度第2回入学者選考
23日~24日 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験①
12月 6日~ 8日 後期地方スクーリング(1)(大阪、広島)

9日~12日 後期 I Pメディア授業科目試験
13日~15日 後期地方スクーリング(1)(新潟、名古屋、福岡、沖縄)

◆◆ 広報活動 ◆◆

《進学相談会》

8月:北海道 6会場(旭川(2)、札幌、釧路、帯広、北見)
9月:北海道 6会場(苫小牧、室蘭、函館、網走、小樽、新札幌)
秋田県 1会場(秋田)
10月:北海道 5会場(函館、旭川、北見、釧路、帯広)
11月:北海道 19会場(岩内、函館、札幌(3)、旭川、北見、紋別、枝幸、釧路、
新札幌(2)、帯広、大樹、深川、苫小牧、浦河、厚岸、
八雲)
12月:北海道 11会場(苫小牧、知内、江差、札幌(2)、旭川、北見、帯広、釧路、
留萌)

《高校内ガイダンス》

8月:北海道 3校(帯広三条高校、岩見沢西高校、斜里高校)
埼玉県 1校(小松原高校)
9月:北海道 2校(札幌南高校(定時制)、北星学園大学附属高校)
10月:北海道 5校(札幌平岡高校、千歳北陽高校、標津高校、
北海道栄高校、札幌大谷高校)
青森県 1校(青森中央高校)
埼玉県 1校(大宮開成高校)
東京都 1校(昭和第一高校)
11月:北海道 10校(北星学園女子高校、石狩翔陽高校、恵庭南高校、
札幌丘珠高校、札幌拓北高校、旭川実業高校、
遺愛女子高校、旭川大学高校、富良野高校、
札幌龍谷学園高校)
東京都 1校(東海大学菅生高校)
神奈川県 1校(横浜清風高校)

《高校内進路講演会》

8月:北海道 4校(札幌南高校(定時制)、訓子府高校、札幌北高校(定時制)、
えりも高校)
9月:北海道 5校(野幌高校、厚岸翔洋高校、霧多布高校、札幌白陵高校、
滝上高校)
10月:北海道 2校(音更高校、倶知安高校)
11月:北海道 8校(遠軽高校(定時制)、旭川実業高校、札幌東豊高校、
遠別農業高校、旭川大学高校、長万部高校、
札幌大通高校、札幌山の手高校)
12月:北海道 11校(寿都高校、小樽明峰高校、飛鳥未来高校(札幌キャンパス)、
函館商業高校、小清水高校、留寿都高校、真狩高校、
岩内高校、清里高校、武修館高校、旭川実業高校)

《高校出張講義》

8月:北海道 1校(斜里高校)
9月:北海道 1校(江差高校)
11月:北海道 8校(札幌啓北商業高校、雄武高校、月形高校、
札幌山の手高校、静内高校、恵庭南高校、江別高校、
旭川商業高校)
12月:北海道 3校(寿都高校、岩内高校、清里高校)

《高校訪問》

8月:東京都1校
9月:北海道212校、埼玉県6校、千葉県1校、東京都6校、神奈川県4校
10月:北海道10校、秋田県24校、千葉県2校、東京都3校、神奈川県2校
11月:北海道119校
12月:北海道120校

《オープンキャンパス》

8月 3日 本学(経営情報学部)
4日 本学
6日 北見、釧路
7日 旭川、帯広、函館
18日 本学
25日 本学
10月13日 本学
11月17日 本学
12月 8日 本学(キャンパス見学会)

《入試説明会》

9月15日 本学(A O入試・奨学金説明会)
29日 本学(A O入試・推薦入試説明会)
12月 8日 本学

◇通信教育部◇

《入学説明会:本学独自》

8月:2会場(札幌、鹿児島)
9月:3会場(東京(2)、本学)
12月:5会場(本学、東京(2)、名古屋、大阪)
《合同入学説明会;私立大学通信教育協会主催》
8月:3会場(東京、名古屋、大阪)
9月:2会場(札幌、福岡)

◆◆ 主な来学者 ◆◆

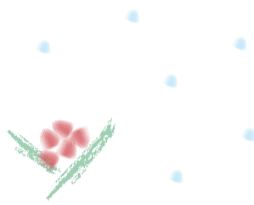
◇大学◇

8月 8日 タイ王国ラジャマンガラ工科大学理事長一行
10月23日 江別パソコン利用研究会一行

◇広報室来学者◇

8月 5日 留萌希望高校(教員2名)
9月 6日 札幌東豊高校(大学見学会:生徒70名、教員3名)
9日 奈井江商業高校(大学見学会:生徒23名、教員2名)
13日 北白石中学校(大学見学会:生徒41名、教員2名)
17日 石狩翔陽高校(大学見学会:生徒29名、教員2名)
18日 江別高校(大学見学会:生徒60名、教員3名)
10月17日 千歳北陽高校(大学見学会:生徒16名、教員1名)
25日 上土幌高校(大学見学会:生徒11名、教員1名)
29日 江別第三中学校(大学見学会:生徒4名)
11月18日 旭川龍谷高校(大学見学会:生徒9名、教員1名)
12月 6日 北広島西高校(大学見学会:生徒33名、教員1名)
19日 恵庭北高校(大学見学会:生徒19名)

ななかまど 編集隊 vol.59



外もすっかり雪が積もり、季節も冬に変わり・・・編集隊がななかまどを担当することになってから、二度目の発行となりました。前回の発行からこの冬まで、さまざまな行事がありました。WDCでタイへ行き学生とワークショップをしたり、蒼天祭で力を使いきったり、東京ゲームショウに出展したり…。そんな行事がたくさんある中、今回のななかまど制作の準備が始まりました。会議を重ね、掲載内容を決定し、レイアウトに取り掛かりましたが、

今回は行事が目白押しだったために、ななかまどのページ数も読みごたえのあるものとなりました。また、それぞれの記事にゆかりのある学生が編集しているため、読みやすい記事になっているのではないかと思います。学内の出来事やコンテストの結果、学外で参加しているプロジェクトなど「今、北海道情報大学の中ではこんなことが行われている」というリアルな情報がたくさん詰まった冊子になっていますので、隅々まで楽しんでご覧ください。



編集隊募集中



現在、ななかまどと一緒に編集してくれる方を募集しています。デザインを一から試行錯誤し、担当ページを作り上げていくため、大変な部分もありますが、とてもやりがいのある活動です。本の編集に興味のある方、やったことがない方でも、やる気があれば大

歓迎です。あなたの作ったページがそのまま、ななかまどに掲載されます。私たちと一緒にななかまどを編集しませんか？気になった方、やりたい方は北海道情報大学川上研究室228までお越しください。編集隊一同、新たな隊員をお待ちしております！

